

3年生の梨づくり学習～収穫～

14日(火)の1校時に3年生の子ども達が紺野果樹園の梨畑見学に行きました。果樹園のご主人・紺野淳様より、この時期の仕事「収穫・出荷」についてお話を伺いました。手塩にかけてきた梨の収穫は家族とスタッフ(お手伝いさん)が一丸となって朝早くから収穫し、そのあと選果、箱詰めを行って、その日のうちに出荷するそうです。新鮮な果実をいち早く消費者のみなさまに届けるために日々努力されているのだそうです。

収穫・出荷が終わっても梨の作業は続きます。堆肥や肥料を園に施す作業になるそうです。次の見学が楽しみです。



〈まずは、紺野さんから収穫の仕方を教わりました。袋ごとと慎重な手つきで収穫…。名入り袋ごと収穫無事成功!〉



〈自分が袋掛けした梨が立派に生長した姿に感激!お土産の梨をいただいて、朝採り梨を試食させていただきました!〉
今回の見学では子ども達が紺野さんへインタビューする場面もありました。以下、主なインタビュー内容です。

Q 花粉交配をするのはなぜですか?

A 実の成りをよくするため。(大きさ、形、色、味など)

Q 葉の茎が黒くなってしまう病気の名前はなんですか?

A 黒斑病、黒星病といい、果実が一部黒くなり、萎縮した状態になります。

Q ゴールド20世紀は収穫まで150日と聞きましたが、ほかの梨は違うのですか?

A 品種によって違います。もっと長いものから120日で収穫できるものもあります。

ちなみに、この日子ども達が収穫した梨の重さの平均値は400g!一番大きいもので474gでした!

秋到来～落ち葉はき作業～

通学路や校門に落ち葉が目立つ季節となりました。企画委員会の子も達が朝の活動として落ち葉はきをしています。15日(水)は5年生が担当。一生懸命に作業しておりました。



お知らせ

◇学校だより「輝け 庭塚っ子」の紙面は、福島市小・中・特別支援学校ポータルサイト(<https://fukushima.fcs.ed.jp/>)でカラー版でご覧いただけます。ぜひアクセスしてみてください。

◇タブレット学習に際してイヤホン準備のご協力をお願いいたします。(別紙プリント参照)